舞鶴市議会最年少議員

鴨田あきつ通信

後援会だより　Vol.09

発行／鴨田あきつ後援会
舞鶴市字境谷158
TEL0773-75-0800
mail k.akitsu3@gmail.com

先を急がず一歩一歩着実に コロナに打ち勝ちましょう

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年は新型コロナウイルスが世界中を襲い、現代を生きる我々にとって経験したことがない、まさに未曾有の事態となりました。政治の在り方も大きく問われた一年でした。自粛要請に対する補償の曖昧さ、地方への責任転嫁など、我が国はいざという時に法体系が機能しないことが明白になりました。

舞鶴市議会では、地域医療体制の確保、地域経済の復興、自治体への財政支援、新たな雇用の創出に向けた取組等を要望として取りまとめ、国に対して意見書を４度にわたり提出してきました。これからも引き続き地方から声を届けて参るとともに、市政においても、市民の皆様に寄り添った政策が展開されていくよう、チェック機能を持つ議会として、その責任を果たして参りたいと存じます。

さて今年の干支である丑年ですが、牛は大変な農作業をしっかり手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」というように言われており、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年であると認識しております。結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていくことが重要でしょう。国においても、ワクチンの実現化など着実に進んでおり、今年は必ずコロナに打ち勝ちましょう。

最後になりましたが、本年も皆様には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

2021年1月吉日　鴨田　秋津

令和２年 12月定例会　舞鶴市議会として高浜発電所１、２号機の再稼働容認を決議。私は時期尚早として反対！

今定例会では、高浜発電所の再稼働に関連する２つの請願書が出されました。

（請第２号）高浜原発１・２号機の再稼働中止を求める請願

（請第５号）高浜発電所１・２号機の再稼働に関する請願

一方は「関電や関係機関に対して、議会として再稼働中止を求めてほしい」との要旨、もう一方は「再稼働を舞鶴市議会として容認してほしい」との要旨で、対極の内容です。

再稼働することで生じるリスクは、福島の事故以来、安全神話が崩壊し事故が起こった時の代償は計り知れないということ。

一方で、再稼働しないことで生じるリスクは、

①電気料金が家庭用で約23%、産業用でも約25%アップし、
経済的に大きな負担となっている（震災前との比較）

②エネルギー自給率の低下による海外依存度の上昇

③本市に住む、原子力発電所やその関連企業で働く多くの方々の雇用

原発を再稼働するか否か、いずれをとっても大きなリスクを背負うという究極の選択を私達は迫られています。

私は、それらを総合的に踏まえた上で、現状においては再生可能エネルギーの不安定さを補完するベースロード電源が必要という認識を持っています。そしてこの度、国の新規制基準適合によって安全性が一定確認された高浜発電所 1、2 号機の再稼働は、やむを得ないという判断をしておりますが、**将来的には脱原発すべき**との立場であります。

よって、そもそも即時原発不要論の請第２号には反対しました。

請第５号については、地元商工会議所からの請願であり、内容について一定理解したものの、今議会で審査を終結させるのはあまりに時期尚早であり、継続審査を求め動議を提出し、賛成者が数名で、動議は成立いたしました。

本会議最終日に動議を提出している模様

動議を提出している模様です→

しかし継続審査の提案を否決されましたので、やむなく請第５号についても反対しました。

（裏面にその具体的な理由について記載します）

住民の質問にすべての回答が揃っていない中で、果たして審議が尽くされたと言えるのか？

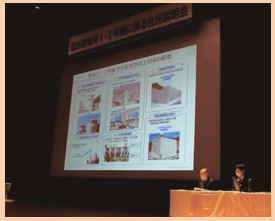
継続審査を求めた理由は主に２点あります。

１点目　市長は12月８日の本会議場において、高浜発電所の再稼働について、「市議会や住民の意見を十分に踏まえ総合的に考慮し、責任ある判断をしていきたい」と答弁しています。

市民への説明の場として、**12月６日に説明会が開催**されました。その場にいた方だけでなく、市民の皆様から意見や質問を募集しました。

出された質問に対しては、「市民からの質問等には国と関電に分かりやすく説明するよう求める」と市長は答弁。

しかしながら20名の方からいただいた、延べ94件の質問やご意見に対する国や関電からの回答は、請願の賛否を表明する本会議の時点で全ての回答には至りませんでした。



12月6日に舞鶴市総合文化会館で行われた住民説明会

12月22日の原子力防災・安全等特別委員会では、質問・意見に対して何の回答もないまま審議が進められました。これでは何をもって住民の意見を踏まえたと判断できるのか。最低限この度のクエスチョンに対するアンサーを全て示した上で、議会において審議すべきで、それをまず踏まえるというのが手続きとして正当ではないかと考えます。

２点目　舞鶴市は**全国で唯一、立地県以外で５キロ圏に入る自治体**であるにも関わらず、いまだ同意権がありません。これまでから立地自治体と同様の同意権や避難道路におけるインフラ整備や地域振興においても、財政支援などの面で、立地自治体と同様の対応を国に対して求めております。が、様々な部分において立地自治体と同様の対応には**まったく至っていない現実があります**。

万が一の事故というリスクを背負っているのは立地の高浜も舞鶴も同様であり、なぜ対応に差がつくのか。長年舞鶴市民は不安を抱えております。国や関電に意見要望を発信し続けることは私達議会の重要な責務です。そしてもっとも大事なことは、要望に対して誠意ある対応の確約を明確に得ること。それがリスクを背負う市民に対して、最低限、政治が成すべきことだと私は考えます。

よって、①市民から出た意見への回答も不十分なこと、②リスクに対する具体的支援の保証が国や関電からないこと。以上のことから、高浜原子力発電所の再稼働を容認することは時期尚早だと考え、反対しました。

討論　討論は一般質問と同様に YouTube（ユーチューブ）で閲覧できます

鴨田秋津プロフィール

1981年11月11日生まれ（39歳）

【学歴】拓殖大学経済学部 卒　【趣味】柔道（５段）、魚釣り
【家族】妻・子ども３人（１男２女）
柔道教室で子ども達の指導をはじめ、各種団体で青少年育成活動等を行っています。

委員会質疑

お蔭様を持ちまして市議として３年目を迎えました。常任委員会は市民文教員会を希望し、３年連続で配属されました。保育教育、文化スポーツ、そして前回号（後援会だよりVol.08号）でも問題定義したゴミの有料化などの環境問題についても引き続き市民目線で、**是々非々を貫き**、その責務を全うしてまいります。

今回は令和２年度の一般会計補正予算などを審査しました。

＝成人式ついて＝

Q.コロナ禍での開催であるため、式典への入場を成人のみに絞ることはやむ終えず正しい判断だと思うが、だからこそYouTubeやZoomなどを用いて、せめてライブ中継や動画配信を行ってはいかがか。→**A.予定はなかったが、やるように検討する。**

この通信が皆様のお手元に届く頃には、すでに成人式（令和３年１月10日開催）は終わっていますが、このように委員会での発言で、動画配信が決定しました。一般質問だけでなく、委員会での質疑も非常に大切です。

＝図書館の雑誌スポンサー制度ついて＝

Q.新たに始まった雑誌スポンサー制度は、良い取り組みであると評価するが、制度自体の存在が知られていない。広報に力をいれるべきでは。→**A.経済団体などに対して積極的なPRに努める。**

令和２年11月から始まった取り組みです。企業又は個人の事業者・団体の皆様を対象とした、雑誌の購入費用を負担いただくことで、提供いただいた雑誌（最新号）のカバーに広告を掲載し、図書館利用者にＰＲが出来る制度です。書籍の充実にもつながります。是非ご利用下さい。

詳しくは舞鶴市のホームページをご覧下さい。

雑誌表紙（スポンサー名掲載）

雑誌裏面（広告掲載）

編集部よりひとこと

編集部のＫです。前回号で取り上げたゴミ有料化等の条例改正、今回の原発の再稼働容認など、政治の素人の僕が見てもやり方が強引です。市長と議会は対等で、市民を代表して市政をチェックするのが議員の役割だと思うのですが、皆さんはどう思いますか。

市議地域の要望等、些細な事でも構いません。是非お気軽にご相談下さい！
TEL：0773-75-0800　mail：k.akitsu3@gmail.com

インターネットでは、日々の活動をより詳細に更新しています。ぜひご覧ください。

ウェブサイト　facebook　twitter　Instagram